

熊本地震国際合同調査速報シンポジウム

“Kumamoto Earthquake International Joint Research Collaboration
Preliminary Symposium: Man-made Strata and Geo-hazard”

主催：国際地質科学連合(IUGS)環境管理研究委員会・NPO 日本地質汚染審査機構

Held by the International Union of Geological Sciences Commission on Geoscience for Environmental Management (IUGS-GEM) in collaboration with the NPO Geo-pollution Control Agency, Japan

2016年6月25日(土) 13:30~16:30

浦安市文化会館 大会議室

Urayasu city, Chiba Prefecture, Japan

On Saturday, June 25, 2016.

挨拶： 榎井 久(国際地質科学連合(IUGS)環境管理研究委員会(GEM)常任理事)
学術プログラム

1. 熊本県益城郡益城町安永住民がみた地震被害.....吉村陸太郎(益城町地震被害者:地質学者) (20分)
2. 平成28年(2016年)熊本地震に伴う地殻変動.....矢来博司(国土地理院 地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室長) (20分)
3. 震源の波形分離と熊本地震から学ぶ地震災害.....殿上義久(音響地質学者) (20分)
4. 熊本地震での液流動化・地波現象.....榎井 久(人自不整合と熊本地震地質災害国際合同調査団 (国際地質科学連合(IUGS)環境管理研究委員会(GEM)人工地層と地質汚染研究委員会・NPO 法人日本地質汚染審査機構 合同調査団)) (20分)
5. 東日本大震災時における浦安市の地盤沈下・・香川 淳(千葉県環境研究センター地質環境研究室) (20分)
6. 「地層の不整形性を考慮した二次元弾塑性有効応力解析による表面波の再現と液状化被害に及ぼす影響」
ー浦安市を例としてー.....中井健太郎(名古屋大学 大学院工学研究科社会基盤工学) (20分)
7. 東京湾岸における帯状液流動化被害.....風岡 修(千葉県環境研究センター地質環境研究室) (20分)

総合討論 熊本地震から学ぶ地震減災対策

* 資料代:1,500円

(お問い合わせ先:Tel.043-213-8507) <http://www.npo-geopol.or.jp>